

2 令和6年度予算を見てみよう

もっと知りたいあなたに

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。つまり、3種類のお財布があって、お金の出し入れをしています。



1,679億600万円
一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。令和6年度の当初予算の額は、1,679億600万円(※骨格予算)になっています。

※骨格予算とは、義務的経費や、継続的に実施している事業の経費などを計上した予算のことです。令和6年度予算を決める年が市長選挙の年だったため、令和6年度当初予算は骨格予算として編成し、補正予算で施策の内付けを行うこととしています。

次のお財布は「特別会計」です。

860億4,490万円
特別会計

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「土地区画整理事業費」や「国民健康保険事業費」など5つの特別会計があります。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費…31億4,896万円
- 介護保険事業費……………356億3,755万円
- 墓園事業費……………4億8,374万円
- 後期高齢者医療事業費……………80億2,644万円
- 国民健康保険事業費……………387億4,821万円

471億4,485万円
公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

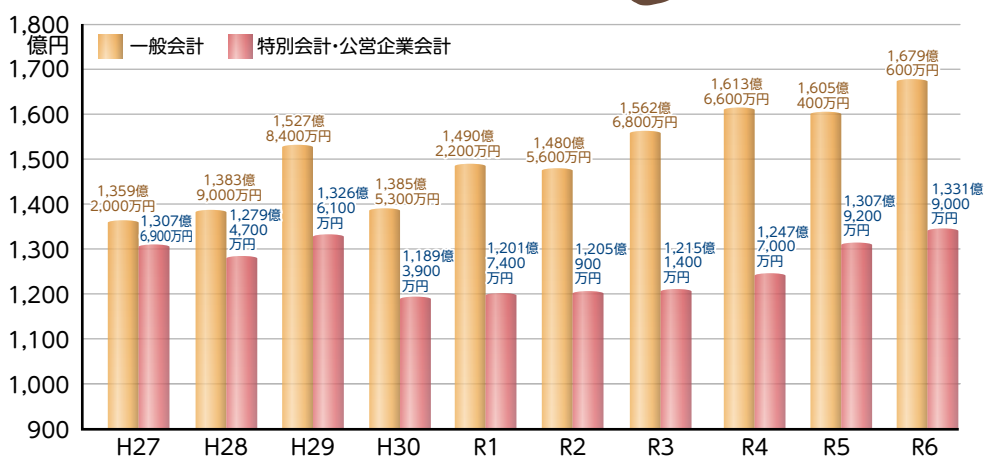
民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。藤沢市には下水道と市民病院の2つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費…199億2,754万円
- 市民病院事業…272億1,731万円



全会計 **3,010億9,575万円**

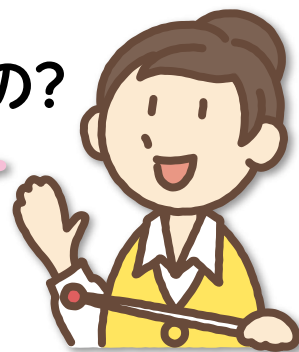
● 予算規模の推移



令和6年度の一般会計の当初予算は、骨格予算ではありますが、福祉施策や子育て施策、道路や公共施設の老朽化対策や都市基盤整備事業、また、デジタル市役所・スマートシティの推進などにより過去最大の予算規模となっています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、介護保険事業における介護給付費や、市民病院事業における電子カルテシステムなどの医療機器等の更新や導入に要する経費などが伸びているため、前年度に比べ増加となっています。

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの？



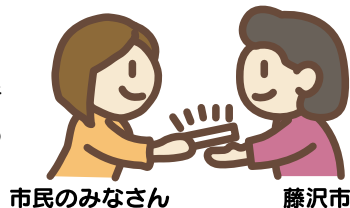
では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、令和6年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
1,027億10万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



市民のみなさん

藤沢市

依存財源
652億590万円

道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国や県が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

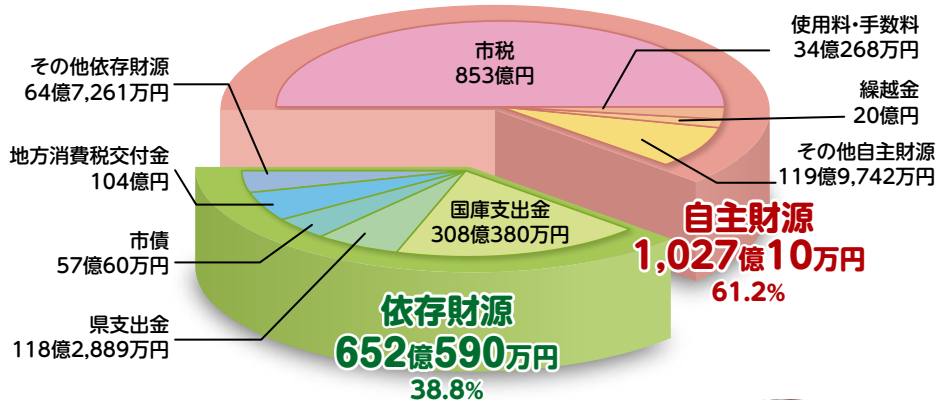


国や県

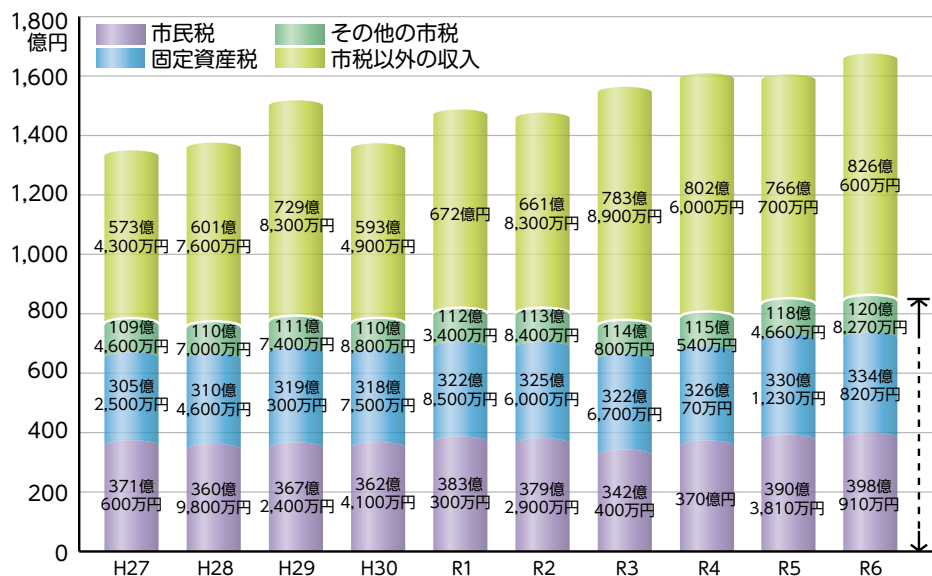
藤沢市

● 令和6年度 歳入予算の内訳

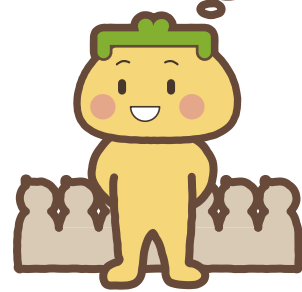
藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。



● 一般会計歳入予算に占める市税の推移



およそ半分が市税なんだ…

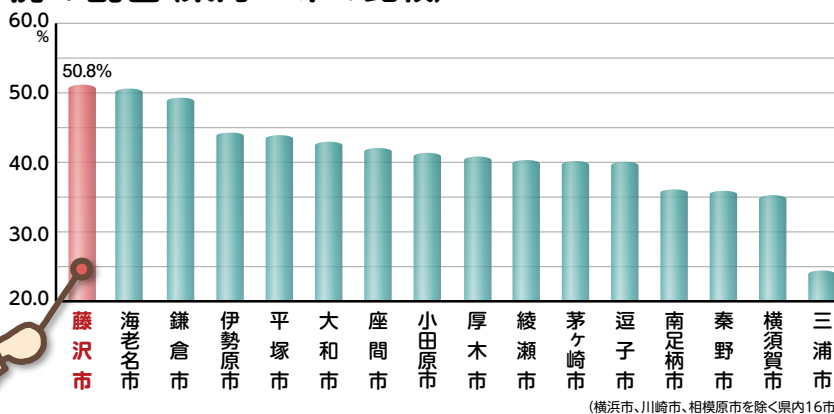


歳入総額
1,679億600万円の
50.8%が市税

令和6年度予算の市税収入は、個人市民税や法人市民税、固定資産税の増額を見込んでいる一方で、地方特例交付金や国庫支出金の増額などにより、歳入全体に対する市税の割合は減少しています。

●歳入予算に占める市税の割合(県内16市の比較)

藤沢市は
県内16市中
第1位です
(藤沢市50.8%)



コラム

家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違っているので単純に比べられません。例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…

藤沢市の予算

こうなります。

歳入		歳出	
市税	853億円	人件費	309億2,841万円
使用料、手数料など	174億 10万円	扶助費	533億3,001万円
【自主財源合計】	1,027億 10万円	物件費	314億4,104万円
国・県支出金など	595億 530万円	投資的経費・維持補修費	122億2,075万円
市債の発行	57億 60万円	公債費	94億 342万円
【依存財源合計】	652億 590万円	繰出金・補助費	285億4,521万円
歳入の合計	1,679億 600万円	積立金・貸付金など	20億3,716万円
		歳出の合計	1,679億 600万円

1ヶ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収入		支出	
給料	20万8,000円	食費	7万5,000円
パート代	4万2,500円	医療費・保育料	13万円
【給料などの合計】	25万 500円	光熱水費や被服代	7万7,000円
その他臨時収入	14万5,500円	家の増築・修理、家財購入	3万円
銀行からの借入	1万4,000円	住宅ローン返済	2万3,000円
【臨時収入の合計】	15万9,500円	子どもへの仕送り	7万円
収入の合計	41万円	貯金	5,000円
		支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高)781億7,467万円、家計簿に例えると232万8,000円
 預貯金の残高(基金残高)211億8,817万円、家計簿に例えると 63万1,000円

※令和4年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお給料やパート代で61.2%を占めています。

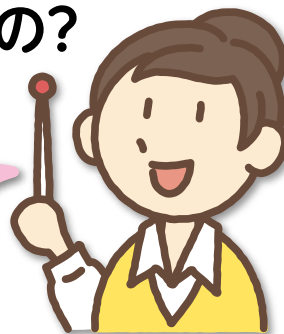
支出では、医療費や保育料、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。



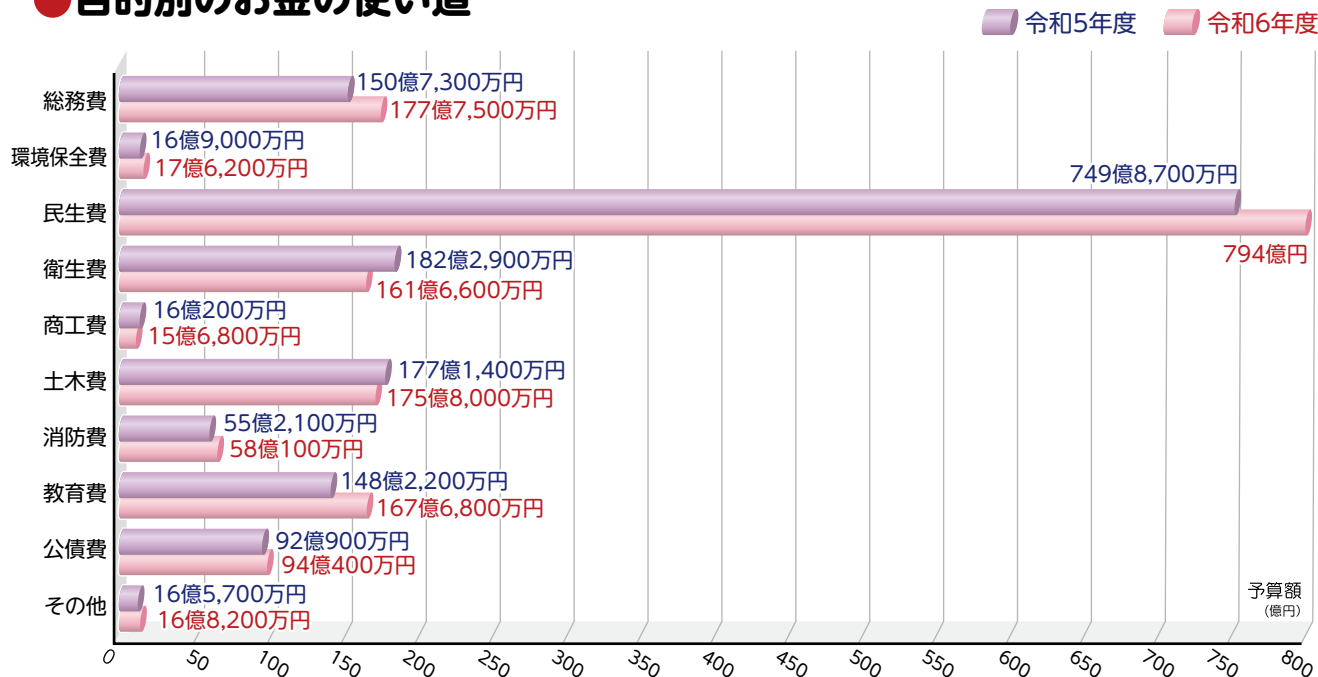
3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの？

入ってきたお金は、どのように使われるのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、福祉や子育てのほか、道路や学校などを整備したり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金が使われます。



● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターの運営、税金の徴収や住民票の発行、防災対策などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、温暖化対策や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光客誘致のための宣伝などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
施設の再整備や道路を作るときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)やその他の社会保障施策に使われます。